杭基礎の震度法照査(H24)

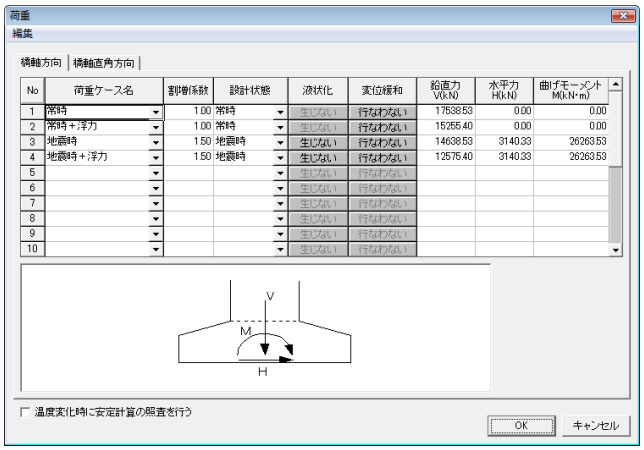
土木・建築設計計算　SUCCES

道路橋示方書（平成24年3月版）、杭基礎設計便覧（平成27年3月版）対応
「道路橋示方書」（平成24年3月）に準拠し、地震時保有水平耐力法による橋台、橋脚の杭基礎の照査を行います。地盤の塑性化を考慮した非線形解析により、杭基礎の安定及び断面の耐力照査を行います。

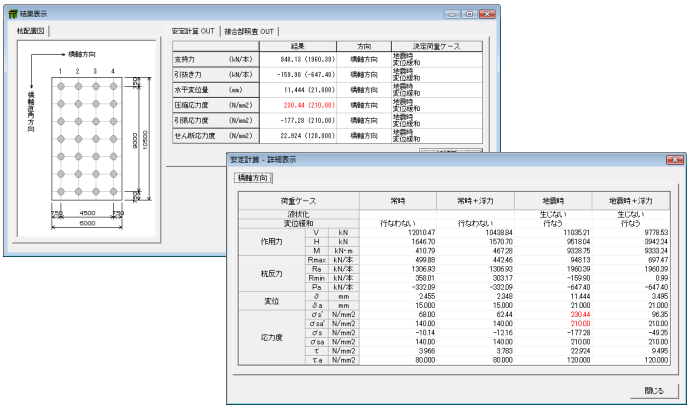
製品特長

プログラムの詳細

■設計状態、液状化の有無、変位緩和の考慮を任意に組み合わせて照査を行えます。



■同じ画面上で、全照査項目の照査判定結果および照査項目ごとの結果を一覧表示できるので、照査結果の確認が即時に行えます。



システムの適応範囲

▶対応基準

■「道路橋示方書・同解説Ⅳ 下部構造編」（平成24年3月）　公益社団法人 日本道路協会
■「杭基礎設計便覧」（平成27年3月）　公益社団法人 日本道路協会
■「既製コンクリート杭－基礎構造設計マニュアル－土木編」（平成10 年 8月）　一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会

▶対応基礎形状

・杭基礎のみ

▶対応計算タイプ

・常時、暴風時及びレベル1地震時照査のみ

▶単位系

・SI単位のみ

▶対応杭種

・鋼管杭
・ PHC杭
・ SC杭
・場所打ち杭
・ RC杭
・鋼管ソイルセメント杭
・回転杭

▶対応杭工法

・打込み杭工法
・中掘り杭工法
・場所打ち杭工法
・プレボーリング杭工法
・鋼管ソイルセメント杭工法
・バイブロハンマ工法
・回転杭工法

▶計算項目

・変位法による支持、変位の照査、変位法による水平変位の制限を緩和する照査、杭の断面計算、杭とフーチング接合部の照査、杭の断面変化、負の周面摩擦力に対する検討、カットオフの照査

▶最大地層数

・20層

▶杭列数

・30×30列

▶杭配置

・正方配置
・千鳥配置
・間引き配置
・任意配置
・斜杭

▶制限事項

・フーチングの断面照査は行いません。
・異種杭、補強（増杭）の計算は行いません。

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS	Microsoft Windows 11,10 ※Windows動作保証の最新情報はこちら	ハードディスク	OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境
メモリ	OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境	ディスプレイ	1280×1024以上が表示可能なもの

※記載の内容は今後予告なく変更する場合がございます。
※記載の会社名・商品名は各社の商標もしくは登録商標です。